

亜熱帯緑化事例発表会 実施要領 (案)

1 目的

沖縄県は亜熱帯性気候を有し、その温暖な気候から様々な植物が緑化に利用され、美しい街並み、快適な環境、生物多様性など環境保全に寄与している。各市町村、地域単位に加え、個人や民間による緑化（環境保全等を含む）についても数多くの事例がみられ、特有の気候や自然条件にあった緑化技術についても、国、県、市町村ならびに民間等によって年々向上されている。これらの事例や緑化技術等の発表の場を設け県民に広く公表するとともに、緑化意識の高揚、都市緑化の普及・啓発に資することを目的に「亜熱帯緑化事例発表会」を実施する。

2 開催日時

令和2年10月23日（金）13:00～16:40（受付は12:30より開始）

※ 審査委員の皆様には開会前に審査要領説明がありますので12:30の集合をお願い申し上げます。

※ 10月初旬に警戒レベルが3以上であった場合、中止を検討する。

3 開催場所・定員

海洋博公園 沖縄美ら海水族館 4F イベントホール

（〒905-0206 沖縄県国頭郡本部町字石川424番地）

30名（新しい生活様式に則り、ソーシャルディスタンスを確保した定員とする）

4 内容等

(1) 応募

発表者は、国、県、市町村、関係団体及び民間等の緑化（環境保全等を含む）活動、事業に携わっている者とする。

応募に当たっては、発表者、発表題名を記載した書面（令和2年度 亜熱帯緑化事例発表会申込書）を令和2年9月25日（金）までに亜熱帯緑化事例発表会事務局（（一財）沖縄美ら島財団）へ提出するものとする。

発表決定者は、発表題名並びにその内容を別に定める様式（様式1）にとりまとめ、所属、氏名を記載し、令和2年10月16日（金）までに同事務局へ提出するものとする。

(2) 発表

発表内容は、都市および建築空間における緑化（環境保全等を含む）に関連する企画、計画、施工管理並びに緑化材料に係わる体験、緑化の事例、技術開発及び調査研究等とする。なお、発表は1人につき約20分（発表15分、質疑5分）の持ち時間の範囲で行う。その他の発表者心得は別紙1のとおりとする。発表者は造園CPD単位を取得できます。

(3) 審査及び表彰

亜熱帯緑化事例発表会審査委員会を設置し、審査基準に基づき厳正な審査を行い、上位3名（最優秀1名、優秀2名）を選出する。最優秀、優秀については、沖縄都市緑化推進会議議長から表彰する。発表者には、参加賞として記念品を贈呈する。また、審査会において、今後の活動に発展性や期待が見込まれる等、全会一致で評価が認められた事例については、審査員特別賞として表彰する。

なお、今回の表彰は当日の結果発表時に行うものとする。※表彰時は仮の賞状とし、後日、正式な賞状を発送。

5 発表会案内通知

発表会へ数多くの方々が参加聴衆するよう関係機関へ案内通知を送付する。

令和2年度 亜熱帯緑化事例発表会次第

1 開催日時 令和2年10月23日(金) 13:00~16:40 (受付は12:30開始)
なお、審査委員の皆様には、同日12:30より審査要領説明を行う。

2 開催場所 海洋博公園 沖縄美ら海水族館 4F イベントホール
(〒905-0206 沖縄県国頭郡本部町字石川424番地)

3 式次第
進行：財団職員

| | | |
|----|------------|-------------|
| 1) | 開会挨拶 | 13:00~13:10 |
| 2) | 審査委員紹介 | 13:10~13:20 |
| 3) | 発表・質疑の要領説明 | 13:20~13:30 |
| 4) | 事例発表(4題) | 13:30~14:50 |
| 5) | 休憩 | 14:50~15:00 |
| 6) | 事例発表(3題) | 15:00~16:00 |
| 7) | 審査会 | 16:00~16:30 |
| 8) | 結果発表・表彰 | 16:30~16:40 |

令和2年度 亜熱帯緑化事例発表会審査委員会名簿

| 構成 | 所 属 | 氏 名 |
|-----|-----------------------------|---------|
| 委員長 | (一財) 沖縄美ら島財団理事長 | 花 城 良 廣 |
| 委 員 | 沖縄総合事務局開発建設部 公園・まちづくり調整官 | 望 月 一 彦 |
| 〃 | 沖縄県土木建築部 都市公園課長 | 高 嶺 賢 巳 |
| 〃 | (一社) 沖縄県造園建設業協会会長 | 下 地 浩 之 |
| 〃 | (公社) 沖縄県緑化推進委員会常務理事 | 生 沢 均 |
| 〃 | 国立大学法人琉球大学農学部准教授 | 赤 嶺 光 |

令和 2 年度 亜熱帯緑化事例発表会発表者心得

令和 2 年度 亜熱帯緑化事例発表会における発表者心得は次のとおりとする。

1. 発表の方法については、次のとおりとする。
 - (1) 映像機を用いて発表する場合は、パソコンプロジェクターを使用するものとする。
(スライド、オーバーヘッドプロジェクター等の映像機を使用する場合は、準備などの都合がありますので事前に事務局へ連絡すること。)
 - (2) 発表会当日において配布する資料がある場合は、あらかじめ事務局へ提出すること。
 - (3) その他の方法により発表する場合は、事前に事務局へ連絡すること。
2. 発表時間は、1 人 20 分（発表 15 分、質疑 5 分）の範囲内とする。
 - (1) 発表時間の経過の合図は、12 分経過 1 鈴、15 分経過 2 鈴をもって行う。
 - (2) 質疑時間の経過の合図は、5 分経過 2 鈴をもって行う。
3. 発表者は、各自の発表時間の 30 分前に控え席で待機すること。
4. 発表会終了後に審査結果をお知らせしますので、発表終了後は控え室にて待機すること。

令和2年度 亜熱帯緑化事例発表会審査基準

1 令和2年度 亜熱帯緑化事例発表会における審査基準を次のとおり定める。

- ①地域の緑化活動事例や環境緑化および建築空間の緑化に関する事例等「事例を発表する部門」と、
- ②緑化技術や建築空間の緑化に関する「調査研究を発表する部門」を設置し、それぞれ（1）緑化事例発表部門と（2）緑化技術部門とする。審査基準は部門ごとに対応するものを使用することとする。

審査基準

- (1) 緑化事例発表部門・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・表1
- (2) 緑化技術部門・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・表2

表1：(1) 緑化事例発表部門 審査基準 50点満点

| 審査項目 | 審査基準 | 配点 |
|------------------------|--|----------------|
| 1) 目的について | その目的が、緑化の普及啓発に貢献するものであるか。 | 5点(×4) 計20点 |
| 2) 内容及び成果について | 目的に添って実施内容がわかりやすく整理されているか、また、結果の判断および分析が客観的になされていたか。 | 5点(×4) 計20点 |
| 3) 発表力、態度等について | 体験や研究内容を訴える力、原稿の整理、映像・図表等の活用の仕方、態度、質疑応答等が適切であるか。 | 5点(×1) 計5点 |
| 〈事務局審査〉 4) 持ち時間について | 与えられた時間内で十分発表できたか。 | 5点(×1) 計5点 |

表2 ; (2) 緑化技術部門 審査基準 50点満点

| 審査項目 | 審査基準 | 配点 |
|------------------------|---|-----------------|
| 1) 目的について | 目的が社会のニーズにあったものであり、将来の亜熱帯緑化技術として期待できるものであるか。 | 5点 (×4) 計20点 |
| 2) 内容及び成果について | 調査の方法、分析及び結果の判断が総合的かつ客観的になされているか。また、独創性があるか。 | 5点 (×4) 計20点 |
| 3) 発表力、態度等について | 研究内容を訴える力、原稿の整理、映像・図表等の活用の仕方、態度、質疑応答等が適切であるか。 | 5点 (×1) 計5点 |
| 〈事務局審査〉 4) 持ち時間について | 与えられた時間内で十分発表できたか。 | 5点 (×1) 計5点 |

2 採点

(1) 採点は5段階にランク分けし審査員ごとに採点を行う。

| | |
|--------|----|
| 特によかった | 5点 |
| 良かった | 4点 |
| 普通であった | 3点 |
| やや悪かった | 2点 |
| 悪かった | 1点 |

(2) 発表時間の記録は事務局が行い、全発表終了時に各審査委員へ報告する。

(3) 審査委員は、審査基準の配点に基づき、4項目について採点を行い、得点を審査採点表に記入する。

(4) 各審査委員の得点を集計表で合計し、合計点数の最も多いものから順位を決定する。

(5) 審査の結果、同得点者が2名以上の場合は審査委員の協議により順位を決定するものとする。